

令和5年度 第5回一ノ宮小学校 学校運営協議会 実施報告

1 日 時 令和6年1月23日（火）19:00～20:00

2 場 所 第二職員室（会議室）

3 R5年度自己評価・学校関係者評価について（教務より説明）

○質疑・意見

- ・10日以上の特欠人数昨年度は90人となっているが、一ノ宮小は多いのか
→市内では多いほうである。昨年度より人数は増えている。理由の一つとして昨年度までは新型コロナの関係で発熱等は出席扱いとなっていたが、今年からは病欠として扱っている。10日以上の特欠で名前を挙げていくのは特欠の少ないときから教職員が意識することとなり未然防止を図っている。
- ・ほっとルーム設置で効果はあったのか。
→2人の児童が継続的に利用している。ほっとルームなら学校に足が向かう子、ほっとルームに行くことで教室に入ることができた子もいる。来年度も設置してもらえることとなった。
- ・読書、クロムブックの使用方法など学校運営協議会で意見を言わせてもらったが、その後の対応がほしい。実際には子どもの様子から何か手立てをうってもらったように感じている。
→意見をいただいたことは教職員で検討し共通理解をもって指導にあたっている。

4 その他（児童の様子・情報共有）

- ・下校時に縁石の上を歩く児童がいて危ない。
→生徒指導部と共有・指導

5 教育支援課 アドバイザーより

- 学校評価は学校運営協議会の方からご意見をもらい、今後の改善点を考えることとなり、次年度の学校経営の改革方針に反映される。そのため、学校評価の記入の仕方に次のような工夫があるとよりよい意見をいただけたと思う。
- ・学校関係者評価の中に教職員にはわかるが地域の方などにはわかりにくい言葉（「授業力UP5」「個別の教育支援計画」等）が多くあるため、注釈等を入れておく。
 - ・成果と課題も印をつけておく等。